

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 150 3月号

2018年3月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

電子図書館へは、
右のQRコードから
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏電子図書館



読書と私 No.140

「私の成長過程にはいつも本がそばにあった」

揖保川町 宮崎 公子

幼少期は絵本。日本おとぎ話から入り、海外のグリム童話まで。その中でも特にお気に入りだったのは『人魚姫』。何度も何度も繰り返し読んでいた記憶があります。

小中学時代は『小公子』『小公女』を読みふけり、その世界にあこがれをいただいていた。また、急に伝記物にはまり、キュリー夫人、エジソン、ナイチンゲール、日本では野口英世などを片っぱしから読んでいました。その人となり、生い立ちを知ることで世界が広がり、カルチャーショックを受けました。

高校に入ると本が大好きという理由だけで文芸部に入り、ハイネ、ゲーテ詩集を片手にいっばしの文学少女気取りで校内図書室の主になっていました。高校2年生の時、学研の読書感想文コンクールで優秀賞の楯をもらったのが唯一の自慢です。

明るい青春文学の第一人者、石坂洋次郎。少し陰のある青春を描いていた富島健夫。江戸川乱歩や横溝正史のおどろおどろしく怪しい世界観に興味を持ち、のちにミステリー、サスペンスへ読書を進める入口になりました。

今までで一番感銘を受けた一冊は、三浦哲郎『忍ぶ川』。主人公の境遇が自分に似ており、血縁関係の宿命のようなものに感動しました。

ショートショートの新星、阿刀田高。エッセイでは渡辺淳一、伊集院静の作品を好んで読みました。もちろん女流作家瀬戸内晴美、私と同時代の林真理子作品も。

確実に年代と共に読む本は変化してきています。読む力、読む目、読む根性も弱ってきているようです。現に長編の時代小説は1、2ページ目でもう降参です。いい本がいっぱいあるのに、残念です。

何年かぶりに長々とペンを走らせました。この執筆の機会を与えて下さった図書館の皆様は大いに感謝しています。



『忍ぶ川』 三浦 哲郎 著
新潮社

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。



17世紀の江戸時代に、百姓たちが領主の圧政に耐えかねて起こした数々の一揆や地域間争論において作成され、提出されたとされる訴状が、民衆の読み書きの教材となった。これを「目安往来物」という。

「目安」とは、箇条書きにされた訴状のことで、「往来物」とは、現代的に言えば、読み書き学習用のテキストブックのことである。

著者は、多くの資料の中から実在の百姓が幕府に提出した訴状や、村同士の争いの訴状往来物の中から「目安往来物」と呼ばれる資料を見出すことに成功する。

その目安往来物の発端となったのは、寛永白岩一揆（出羽国）において作成提出された訴状である。この訴状により領主の酒井長門守忠重

を排除することができたが、その代わりに鎮圧に乗り出した保科家により、一揆の首謀者36名が捕縛され処刑された一揆である。

なぜこのような恐ろしい結末の「白岩目安」が多数発見されているのか。また、現在の山形県のみならず、福島県、秋田県、岩手県にまで流布しているのはなぜか、もちろんこの目安はすべて筆写本であり、手書きで写されたものである。

著者は、これらの目安往来物の教育上の眼目として、第1に文字学習のための教材であるということ、第2に事件にかかわる歴史的事実についての教材であること、第3に訴状文例の学習という側面であることを指摘する。それは、副題にあるように裁判学習帳として民衆の闘いを“記憶記録”にとどめようと、民衆の知恵と努力を活写すると同時に、民衆自身を主人公とする歴史についての教科書でもある。

(龍野図書館 片岡)

トピックス

お知らせ

新宮図書館



花便り ~ステンシルで彩る四季~

ステンシルの技法を使って、四季折々の花々が繊細に表現されているはがき絵の数々を展示します。

【制作】宮脇 美智子 氏 (新宮町在住)

【期間】3月17日(土) ~ 4月16日(月)

【場所】新宮図書館 入口ホール



お願い

本を大切に

本の返却時に、水濡れ、書き込みや落書き、食べこぼし・コーヒーなどの汚れ、ドッグイア(読んでいる目印のページ折り)などで、傷んでしまった本があります。次の利用者が気持ちよく読めるように、本は大切に扱ってください。

借りた本のページが取れたり、傷みがあった場合は、返却時に職員にお知らせください。専用のテープのりで修理します。

※ゼロハンテープなどは変色、汚れの原因になりますのでお気にならぬようお願いいたします。

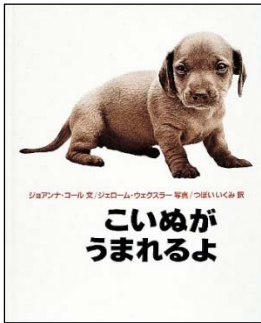


皆様のご協力をお願いいたします。

おすすめする子どもの本・139

『こいぬがうまれるよ』

ジョアンナ・コール 文 ジェローム・ウェクスラー 写真 つばい いくみ 訳 福音館書店



おとなりの家の犬にもうすぐ子犬が生まれます。わたしは、1匹もらうことになりました。

その日がくると、母犬は箱の中に柔らかい

寝床を作り、足を踏ん張って、いきんで子犬を押し出しました。子犬を包んでいた袋を歯で破り、へその緒をかみ切り、ぺろぺろなめてきれいにしました。子犬たちにぴったり寄り添いおっぱいを吸わせます。

わたしは、もらう子犬を決めました。名前は、ソーセージ。ソーセージはとても小さくて、はかりの針は少し動くだけ。まだ目は見えず、耳も聞こえません。けれども、鳴くこととおっぱいの吸い方は知っていま

す。2週間経つと、目と耳があきました。1ヶ月経つと、おすわりができ、初めて歩きました。歯が生えてくると、母犬は、おっぱいを飲ませなくなりました。お皿の上の食べ物やもっと固い食べ物にも挑戦します。そして、世の中を探検したくなって外へ脱出。母犬やよその犬とみんなで遊びます。2ヶ月経つと、母犬と離れ、わたしのところへ。ひもでつなぐと嫌がったけれども、最後にはわたしについてきました。

犬の誕生と成長する様子を白黒写真と文章で丁寧に描いています。手のひら位の大きさで生まれた犬の小さな命が愛おしく感じられ、実際に見守っているような優しい気持ちになります。読んであげるなら4歳くらいから。(揖保川図書館 竹内)

『シャーロットのおくりもの』 E.B. ホワイト 作 鈴木 哲子 訳 法政大学出版社



ファーンという少女の家に弱々しい小さな豚が生まれました。家族はこの豚を育てられないと始末しようと思いますが、間一髪のところをファーンに助けられ、飼われることになりました。

ファーンはこの豚をウィルバーと名付け、とても可愛がり、ウィルバーもファーンになつきます。やがてウィルバーが大きくなると農場に売られ、そこで友だちになったのがクモのシャーロットでした。

ある日、ウィルバーは自分が冬になると人間に食べられてしまうことを知ります。ウィルバーは死にたくないと言ち込み、シャーロットに相談します。友だちを死なせ

たくないシャーロットは、自慢のクモの糸で「たいしたぶた!」という文字を作って、ウィルバーが優れた豚だと人間にアピールすることを思いつきました。ウィルバーも他の動物たちと作戦会議を開き、体をきれいにしたり、芸を覚えるなど「たいしたぶた」にふさわしい豚になれるよう努力します。その他にも様々な作戦を実行した結果、人間たちは「神様の仕業だ」「奇跡が起きた」と喜び、ウィルバーを生かしておくことに決めたのでした。

友だちのために何ができるかを考え頑張るシャーロットと、困難に突き当たっても諦めず、友だちの思いに応えるために努力するウィルバーの姿が心に残ります。小学5年生くらいから。(新宮図書館 山崎)

3月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者

17日(土)・24日(土) 11時～11時20分
『もうおきるかな?』他

新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者

12日(月)・18日(日)・26日(月) 11時～11時20分
『たまごのあかちゃん』他

揖保川図書館 【対象】2～4歳児、保護者

3日(土)・10日(土)・17日(土) 10時30分～10時50分
『はしるのだいすき』他

御津図書館

【対象】1～4歳児、保護者

11日(日)・18日(日)
11時～11時20分
『いってきまあす!』他

【対象】5歳児～

11日(日)・18日(日)
11時30分～11時50分
『こいぬがうまれるよ』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館

3日(土)・10日(土)・17日(土)・
24日(土)・31日(土) 10時15分～10時45分
『ついでにペロリ』他

揖保川図書館

3日(土)・10日(土)・17日(土)
11時～11時30分
『こすずめのぼうけん』他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館

9日(金)
10時～11時30分
『父と子の旅路』
小杉 健治 著

揖保川図書館

16日(金)
10時～12時
『郷愁』
ヘルマン・ヘッセ 著

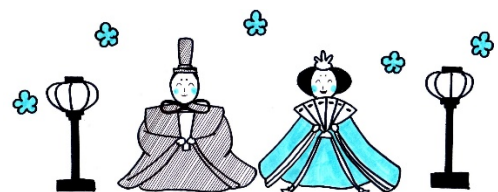
御津図書館

21日(水)
13時30分～15時30分
『陽だまりの偽り』
長岡 弘樹 著

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

龍野図書館

8日(木) 10時～11時30分
『山賊のむすめローニャ』アストリッド・リンドグレーン 著



館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

新生活応援します!

入学、就職、引っ越しなど、春から始まる皆さんの新生活を応援します。通園・通学グッズや社会人のマナー、身の回りの片付けなど、お役に立つ本の特集です。

【期間】3月29日まで

新宮図書館

小説に書かれた 偉人たち ～江戸時代編～

水戸光圀や、平賀源内、西郷隆盛など、江戸時代初期から幕末までに活躍した人々を描いた小説を紹介합니다。

【期間】3月31日まで

揖保川図書館

《児童展示》

しずかなものがたり

雨や夜明けの風景、眠りにつく前のおはなしなど、しずかで心あたたまる本を読みながら、春を待ちませんか。

【期間】3月15日まで

御津図書館

《児童展示》

はいま御津ライオンズ クラブからの贈り物

「地域の宝である子ども達に喜んでもらいたい」と児童書144冊を寄贈していただきました。絵本や図鑑、物語など、楽しい本がいっぱいです。

【期間】終了日未定